

高校生 ICT 2015 Conference

in 東京

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

熟議録

2015 年 10 月 11 日（日）10:30-17:00

【会場】東京 ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省

目 次

1. 高校生 ICT Conference 2015 in 東京 熟議グループ概要	1
2. 熟議録.....	3
■ 第 1 班.....	3
■ 第 2 班.....	3
■ 第 3 班.....	6
■ 第 4 班.....	7

1. 高校生 ICT Conference 2015 in 東京 熟議グループ概要

熟議テーマ：	「大人が作った子どものルール&マナーを考える」
日 時：	2015 年 10 月 11 日（日）10:30-17:00
場 所：	東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【第1班】5人 水戸葵陵高等学校 2年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子 文京学院大学女子高等学校 2年 女子 水城高等学校 1年 女子 〔ファシリテーター〕 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 菅野 泰彦 〔書記〕 中央大学 倉澤 光治 【第2班】4人 自由学園男子部高等科 2年 男子 水戸葵陵高等学校 1年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 お茶の水女子大学 研究員 猪股 富美子 〔書記〕 目白大学 増村 千穂 【第3班】5人 水城高等学校 1年 女子 自由学園男子部高等科 2年 男子 水戸葵陵高等学校 2年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 鎌倉女学院高等学校 教諭 佐藤 正二 〔書記〕 目白大学 清水 諒子 【第4班】4人 水戸葵陵高等学校 2年 男子 自由学園男子部高等科 2年 男子 栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子

	水城高等学校 1 年 女子 〔ファシリテーター〕 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 野沢 健太郎 〔書記〕 目白大学 阿部 壮一
--	--

2. 熟議録

■ 第1班

F『まずは周りにあるルールやマナー、またそれについての意見を挙げてください』

Q：周りにあるルール・マナー

→夜のスマホテレビは禁止。

→学校では携帯禁止・電源OFF。

・でも隠れてやってる人も多いし、先生によっても違う

→大人は守ってない。おかしい。

→写真の公開には、許可をとったり編集したりと気をつけている。

・気をつけてない人もいるが、そういう人にどう注意するかが難しい

→自分たち(子供)では責任を取れないから、ルール・マナーを決めるのでは？

→自分たち(親・周りの大人)が失敗を繰り返さないでから、ルール・マナーを決めるのでは？

→歩きスマホ・自転車スマホについて

・運転手が信号待ちでスマホを見ているのはイラッと来る

・車はともかく人に当て逃げされると困る(犯人が分からない為)

→SNSについて

・クラス単位でルールを決めて呼びかけ合っている

→自分たちで決めているから、お互いに守りあえる

F『出てきたルール・マナーを模造紙にまとめてみよう』

F『ルールは学校間や友達間でのものが多いのではないかな』

F『マナーは友達間や家族間でのものが多いのではないかな』

S「スマホはないと不便、あると(ルールやマナーを気にしなくてはいけなくて)億劫」

S「高校生の方が周りをよく見ていると思う。大人のダメなところも含めて。」

F『次に、自分たちでルール・マナーをつくってみよう』

S「『未成年だから』はおかしいのでは。大人だっていろいろ問題をおこしているのに。」

S「大人が作っているからそうなるのでは？」

F『大人は自分で責任を取る。子供は親が責任を取る。そこが決定的に違う。』

F『大人はなぜ子供を縛るのか、そこを意識してつくってみよう』

S「偏見が多くて困る。スマホを使いすぎているから頭が悪いとか。

勉強に使っていることもあるのに。」

S「子供のほうが柔軟に技術を使いこなして生活しているんだから文句言わないで欲しい」

S「スマホ＝遊び道具ではない。そう思っているのは大人だけ。」

F『バズドラに10万円課金されたのでそれ以来子供は信用してない。』

S「周りの子がミスしたからといってそれを自分にあてはめるのはやめてほしい。」

F『失敗のレベルがわからない。1000円渡してそれを落とされるのとはわけが違う』

J「その子は10万円消費した意識はあったのか」

F「あったようだ。」

S「自分が使ったことのないものを子供に使われるのが怖いのではないかな」

S「親と一緒に(使い方について)勉強するのがいいのではないかな」

S「(そういう場で)高校生が話してもいいのではないかな」

F「常に新しい講師が最新の話ができるのはメリットではないかな」

F・S「『一部の悪い人たちとは違う、ということを表すためには(運転免許のような)試験でもあるといいのでは』」

S「便利だから普及して、普及するから便利。だから試験で普及に制限をかけるのはいかなものかな」

F『そろそろまとめましょう。』

<終>

F=ファシリテーター・J=事業者・W=書記・T=教員・S=生徒

■ 第2班

F「“大人が作った子どものルール&マナーについて考えよう”について考えます」

S「実際にどんなマナーが使われているのかを考えよう」

<現在の社会にあるネットのマナー・ルール>

F「具体的な日常のシーンを考えるといろいろ出てくるよ」

・スマホのフィルタについて

・ながらスマホ

・学校での電子機器の回収

・ゲーム3つまで

・9時以降使用禁止

・スマホの使用時間の制限

・年齢制限

・授業中（放課後まで）スマホ使用禁止 S「情報で使うもの以外は使用禁止。教師が一方的に決めたのか、生徒と話し合っただけで決めたのかは不明。」 S「回収だと扱いに気をつけないと破損してしまうことがある。」 ・マナーモードの設定 ・混んでいる電車での使用禁止 ・親の見えるところで使用する S「今出したことを見て何を感じるのかを教えてください」 S「9時以降の禁止は言われているのか」 S「友人が実際に行っている。」 S「緊急の連絡などの場合不便ではないか」 S「各学校での携帯に対する取り組みを教えてください」 <各学校でのスマホへの対応・考え> ～禁止例～ ・学校内では電源を切る ・学校への携帯の持込禁止 S「緊急での場合はどうするの？」 S「そういう場面に出会ったことが無い。寮制だから、特に無くても害はない。」 ・電子機器の持ち込み禁止 ・持ち込みは許可だが放課後まで使用禁止 S「音楽プレーヤーが使用禁止だから、イヤホンでも没収される」 ～使用例～ ・先生がスマホを使っている授業（授業の資料や映像を見せるために使用） ・職員室内での使用 ・部活動同士の連絡 S「先生、実際に職員室でも使っていますか？」 T「使っている」 F「先生が使っているのに」 F「部活のときは？」 S「放課後だから使っている。」 S「没収されたら、1週間ぐらいで返却」 S「最近だと、特別な行事のときは許可がでる」 S「先生によって差がでる」 S「携帯といってもSIMがないから携帯ではないという意見も出た」	<理由・目的> ～禁止例～ ・勉強に集中するため ・危険 ・正式な規則が無い ・スマホの使用時間を短くするため ～使用例～ ・時間短縮 ・授業をよりわかりやすくできる ・放課後に連絡を取るため S「先生と生徒のコミュニケーションをきちんととることが大切」 S「教師の知識の差で収集がつかなくなるから、一律で規則を決めているのではないかと。破るやつがいるから規則がある。切り替えができる人もいます。自己判断ができればいいのではないかと」 F「生徒会ではクレームこない？」 S「正式な校則ができていないため、携帯についての反応はまだない」 S「授業で取り入れるのはいいと思う」 S「学校のパソコンだから監視されていて自由には使用できない」 S「学校側は授業に集中してほしいから禁止している」 S「パソコンが新しくなった。授業で自分のやる事が終わったら好きなことをしていいという先生もいるから、大人に頼りすぎ」 S「友達同士でスマホ依存だよと言ったこともある。その人にとって害が出ているのかが重要。ずっと使っているからといって依存というのは違うのではないかと。人それぞれ。」 S「授業が終わってから使用許可は賛成？反対？」 S「使用方法をきちんと理解して使えばいいと思う。賛成。」 S「情報の授業内で遊ぶのはあんまりよくない。マナーとして。」 F「家庭でのスマホの使用についてはどう？生活習慣のことなど、学校とは違った視点が見えてくるのでは？」 <家庭でのスマホへの対応・考え> ～禁止例～ ・家では1階で使用する ・1階で充電する（体によくない） ・成績が落ちたら使用禁止 ・親の前でしよう ・ゲーム3つまで（ソーシャルゲームで体力の回復があると無限
---	---

ループになってしまうから) ・高校落ちたらガラケー ～使用例～ ・自分で時間を割り振れば何も言わない ・高校入学後は特に決まりはない ・使う時間は自己判断 <理由・目的> ～禁止例～ ・スマホ使用時間を短くするため ・将来のため ・ベッドで使用しないようにするため ～使用例～ ・自立 ・志望校にいけなくても自己責任 ・わからない F「成績＝スマホの利用になってる気がするね。お金の面ではどう？」 S「課金は絶対しない。課金は企業の思惑だから負けた感が出てしまうため」 S「歯止めが利かなくなるから親にしないでといわれた」 F「ルールやマナーでトラブルとかは無い？」 S「連絡が取れないときに困る。中学生までは連絡網があったが、今はLINEしか連絡手段が無いからとても不便」 ☆まとめ F「ルールを守らなかった場合にペナルティの部分も入ってくると思うんだけど、それはどう思う？」 <学校でのスマホ使用は…> 4人全員賛成（自己判断・自立のため・授業中以外の使用について） <条件> ・正式な校則を作る→みんなで考える（教師と生徒と意見を出し合って一緒に作り上げる・先生がきちんとなぜ規則が必要なのかを説明する） ・授業中は授業で使わないとき以外使用禁止 ・ペナルティ有り（自分をコントロールできれば受けなくていいから） ・休み時間の使用可 ・自分で「何をすべきか」を考える ・学校で統一してペナルティを作る	・ペナルティはあるべき ・やっても意味ないペナルティは無いほうがいい ・無いと永遠に繰り返してしまう S「自分たちで規則を決めたなら、ペナルティは重くていいのでは」 S「スマホとパソコンは同じだと感じる。それを前提として考えていいのでは」 <スマホ（ネット）のルール&マナー> F「自分ではたいしたことが無いと感じていても犯罪になってつかまっている場合があるよね」 S「冷蔵庫の中に入ったりしているのを見て叩いているひが多い」 S「不正ダウンロードをしている人がいて法律もあるが、あまり取り締まられていない」 S「不正ダウンロードを行ってもどうやって見つかるのかわからない。どうやったら高校生が法律についてきちんと知れるのかを考える。」 S「学校であったルールが大きくなったのが法律だと考えられる」 S「法律について知る機会がない」 S「やっている人が多すぎて、つかまっている人が少ないから、自覚が薄れている」 <大人のルールについてどう思うか> ・単なる自己満足？（見せしめのもの） ・もっとわかりやすく ・大人中心になっているのでは？ ・大人でも守ってない人が多いのに子供ばかり責めている ・具体的なルール・罰を作る ・本質的な理由があるわけではなく形式的なもの ・高校生の意見も取り入れられるような方法 S「憲法は書き方が回りくどくてよくわからないから、高校生のためにわかりやすく簡単にまとめたものがあるといい」 F「それは自分たちが作るの？」 S「大人のひとと一緒に考えてつくる」 F「みんなは教育される機会があるけど、大人はネットについて知る機会が無いよね」 S「今の大人はわかんない人は使っていない」 S「国家権力で抑えられる前に、ある程度高校で基盤を作るのが重要」 <終>
---	---

<>…話し合いのタイトル

～…項目

F=ファシリテーター・J=事業者・W=書記・T=教員・S=生徒

■ 第3班

F『学校、家、地域などでの携帯を使う上でのルールを書いてください』

S「自分の部屋にスマホを持っていらず、リビングなどで使用する」

S「使用してはいけない理由があればルールは守る」

S「守れない。親の前ではできない話があるから」

S「朝の会の時点で親に預ける（学校）」

S「ホームルームで電源をおとし、学校が終わるまで使用しない」

F『もし使っている同級生がいた場合注意しますか？』

S「自分が言っても意味がないので、言わない」

S「1年生は電子機器を持ち込んではいけないというルールが学校にある」

S「一回使わないと決めると使わなくなる」

F『ネットに写真などをのせることはありませんか？』

S「試験の範囲を携帯で撮ることはするがネットにあげたことはない」

S「授業中使用してはいけないのはわかるが、休み時間はいいのでは」

F『授業中、調べものするときはどうしていますか？』

S「先生の許可ができれば携帯を使用しても良いことになっている」

S「しかたなく先生が許可を出す場合がある」

F『フィルタリングをかけることについてはどう思う』

S「目的と使う人に合わせてかけたほうが良いと思う。基準を知りたい」

S「学校で決められているが、かけている人はいないのでは」

F『フィルタリングをかける意味はなんだと思う？』

S「便利なサイトにもフィルタリングがかかってしまうので、わからない。悪いサイトだとわかっていればフィルタリングをかける意味はない」

S「ルールは良いが、基準や何が対象になっているか知ることでフィルタリングの重要性がよりわかると思う」

F『ユーチューブで見たくないものが出てきた場合はどう思いますか？』

S「いやな気分にはなるが、見ないから関係ない」

F『では、見る人が小学生だったらどう思いますか？』

S「好奇心で不意に見てしまうかもしれない」

S「家庭の問題だから良いのでは」

S「内容によっては注意すべき」

F『課金をしてはいけないというのは？』

S「親に使ってはいけないといわれている」

S「もっと有意義なことに使うべきではないか」

F『マナーを守って使うというのはどういうことか』

S「最低限のマナーを守るとは暗黙の了解」

S「対面で言わないようなことはネット上でも言うてはいけないのでは」

S「クラスでSNSに対するマナーを作ったが、それを作ることも自体も大事なのではないか」

S「他人に迷惑をかけないことが重要。定義づけをしたほうが良い」

S「自分たちがマナーを守ろうという気持ちにならなければ意味がないのでは」

S「マナーは受け取り手によって変わってくるのでは」

F『出したマナーの中で守れない理由があれば言ってください』

S「話を聞いてくれる環境がないから、ネットを使用してしまうのでは」

S「楽しかったことを共有したいから、書き込んだことはある」

S「コミュニケーションをしない代わりに書き込むのでは」

S「現実で友達がいなくて、ネット上に友達を求めるのでは」

S「自己中心的な人が使用してしまうのではないか」

F『使いたいと思うことはないか』

S「使いたいときはあったが、無くても使えることがわかった（公衆電話など）」

S「携帯なら無料で電話ができるのになぜお金をかけて公衆電話を使用しなければならないのか」

S「ルールを理解できていないから破ってしまうのでは」

S「ルールを浸透させる必要があると思う」

S「実際にルールを破り、その結果どういことが起こるのかを考えたほうが良い」

S「自分の身を守るために最悪の事態を常に考えたほうが良い」

F「ルールを守らせるための方法を書いてください」

S「自分にメリットがあれば守るのは」

S「ルールに慣れさせる期間をもうける」

T「夏休み中、IT 機器を一日使わないというのを実践し、どう思

ったかをレポートにしてもらった」

T「なくても平気だった、家族と話す時間が増えたという意見があった」

S「やったことで逆に手放せなくなったという人はいましたか」

T「いたが、その後の話し合いで便利すぎて手放せないという意見もあった」

S「生活環境を改善することで、SNS に悪口を書き込む人は少なくなるのではないかな」

S「弊害が出なければ改善する必要はないと思う」

S「自分のことを見つめ直し、自分から環境を変えていく努力が必要だと思う」

S「まわりの環境も影響するので、親なども気を付けたほうが良いのでは」

F「これまでの話から結論に向けた方向性を考えましょう」

S「フィルタリングなどのマナーは他人にどのような迷惑をかけるかを考えていないから守れていないのでは」

S「一つのテーマに絞り説明していくと良いと思う」

F「どういうテーマが良いと思いますか」

S「誰かしらに悪影響を与えるということを」

S「フィルタリングの基準はなんですか？」

J【アダルト、グロテスクなどのサイトほかに、掲示板・SNS・ブログをいったん止めて大丈夫な人のみに見ることができるよう許可をできるようにしている】

S「自分で判断することが大事だということですね」

J【自分で判断し、カスタマイズしてほしい】

S「社会にはさまざまな人がいるなかですべての人が納得する形にする」

S「ルールを守ることによって皆が暮らしやすくなるということを伝える」

S「常に最悪のことを考え行動すると良いのでは」

S「信号が歩きスマホを感知して注意するのはどうか」

S「歩きスマホをしないように妨害電波を出す」

S「歩きスマホによって起きた事故などの体験談を道路に貼るのはどうか」

S「マナーを守らないとということになるかを目に見える形で伝えると良いと思う」

S「SNS を使い、一人一人が考えるきっかけを作り関心をもってもらうのが必要」

S「CMなどで歩きスマホに対する恐怖心を植え付けると良いと思う」

S「実体験をさせ、やってはいけない理由を納得させる」

<終>

F=ファシリテーター・J=事業者・W=書記・T=教員・S=生徒

■ 第4班

Q：F『みんなはスマホ？』

→もっている・・・みんな持っているけど、あまりほしくない
あったらいいなあ・・・なくてもいい

→ガラケーとパソコン

→スマホ

Q：F『スマホの利用手段』

- ・家族との連絡手段
- ・インターネットにつなぐ
- ・生徒会との連絡
- ・動画 ゲーム

Q：F『もし持っていたら・・・？』

- ・電話、メール、友人とはLINE

Q：F『不満に思うこと』

- ・ルールはないけど、怒られる
- ・親に飽きられる 勉強の結果で判別される

S「自己責任がとれるから特に怒られない」

Q：F『学校のルールはどのようになっているか』

S「校則で決まってはいるが、裏では使っているからあまり意味がない。もう少し効果的なルールを作るべきでは？」

→始業前に電源切るが、マナーモードにすることで免れる 先生の抜き打ちチェック

そこまでして触りたいのか？

学校の外に出たら使っていていい 休み時間、授業中にこっそり・・・
授業前に回収されてしまうが、出さない人もいる

Q：F『学校・家庭内・公共の場のルールとして不満に思うこと』

※ポストイット使用

→不満はない

ツイッターなど SNS での小さな愚痴を先生が特定してくる

■学校内で生徒独自のルールを作成したが、みんなが守るとは限らない

→スマートフォンは申請すれば持ち込めるのに、タブレットやポケット WiFi は書類もなく持ち込めない

学校に預けると緊急時の連絡が取れない 職員室経由になってしまう

明確な決まりが無いものがルールに盛り込まれている

→制限時間を設けると、それまでの間にずっと触っている

使用できる空間が限られているが、勝手に持ち出す

中学校が LINE を禁止にするが全く効果はない

→親がいるところじゃないと充電ができない

時間（2 1 時）になったら親に没収されるが、その後の連絡に対応できない

S「使いながら問題点や過ちを学んでいくものではないか」

S「知識がなかったらまた同じことをする」

S「大人は何故没収したがるのか？」

F『クラスのルールの決め方に不満があるか？』

S「クラスの中の権限が強い人たちが主導になって決めている。しかし、実際に守っているのかどうか定かではない。周りの人たちも参画してきちんとルールを作っていけないといけない。良識のある人が意見をまとめないといけない。」

S「先生が人を選んで罰を与えている・・・？」

S「生徒は守っているのに、先生は守っていない」

S「授業外で使用している先生もいる（職員室など）」

S「監視下に置きたい」

Q：F『ルールをやらせるには？』

→そもそもスマホを持たない

→スマホに代わる代替品を用意するが、それに没頭してしまう

S「親が『遊び道具』と決めつけたものを没収していつていく」

S「親の世代になかったものは没収」

S「心配の度合い」

S「誰と何をしているのか詳しく聞いてくる」

S「親と激論を交わして、お互いの理解を得て禁止を解いた」

S「ルールを決める人が守らないといけない」

S「大人でも例外はない」

S「固定観念に囚われているから頭ごなしに否定する」

S「ニュースや新聞での情報で決めつける」

S「親の知識不足」

S「SNS のメリットとデメリットをきちんと教え込むべきである」

S「生徒は SNS 講習会などあるが、大人にはあまりないから知る機会が無い」

S「情報を扱うのが怖い」

■■■■まとめ■■■■

S「連絡手段として利用しているから没収されるのは困る」

S「制限を設けるのは逆効果」

S「歩きながら何かすること自体に注意を」

S「禁止にするのではなく、環境を変えていく」

S「自己責任を育て上げる」

自己責任→自分だけに被害が来ること

S「大人に守られている、子供を守ろうとするためにルールがある」

S「子どもだけでなく大人も守ろう」

S「自分から守ってもらえるようにアプローチしていく」

<終>

F=ファシリテーター・J=事業者・W=書記・T=教員・S=生徒